取扱説明書

DAYTONA corp.
R79191①/⑨

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

	適応車種	商品NO.
インナーフォークKIT /10インチ ドラムブレーキ用	モンキー/ゴリラ （'78ー）	79191（フォークラバー） 79198（フォークブーツ）

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
その他	その他の警告及び注意を告げるものです。		

⚠警告

禁止

- **モンキー/ゴリラ('78-)専用品**となります。適合車両以外の車両には使用しないでください。
- **オンロード専用設計**となっております。オフロード走行やジャンプ等、過度の負荷が掛かる走行はしないでください。ヘタリや破損の原因となります。
- サスペンションスプリングの加工（切断等）は行わないでください。**ヘタリや破損の原因**となります。また、ストローク不足により操安性が著しく低下します。

⚠注意

実施

- 本品装着後は、**慣らし運転**を必ず行い、走行フィーリング・操安性を確かめながら走行してください。慣らし運転を怠った場合、純正フロントフォークとの走行フィーリング・操安性の違いから、転倒の原因になります。
- 取り付け作業は設備の整ったオートバイ店、認証整備工場等の熟練した整備士に依頼してください。
- 取り付けは確実に行ってください。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けてください。ネジの緩みによる破損については保証できかねます。
- 取り付け後約１００ｋｍ 走行しましたら各部を点検してネジ部等の増し締めを行ってください。その後は約５００ｋｍ毎に必ず点検を行い、同様の増し締めを行ってください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
- ゴム部品（フォークラバー）へグリスを塗る際は、必ずゴムを侵さない**シリコン系のグリス**を使用してください。

2015/10/16

- 本品を装着するとフロント周りの剛性が向上します。そのため、ノーマルのステムへの負担が大きくなるため、**ノーマルフェンダーオフセット KIT（品番 65631/69440）の同時装着をお奨めします。**ノーマル部品の破損については保証しかねますのであらかじめ御了承ください。
- **この商品を装着すると、別途 10 インチ用サイドスタンド〔品番 66260￥4,200（税抜）〕が必要になります。あらかじめ、ご確認の上、ご用意ください。**

  【参考】

  <インナーフォーク KIT10 インチ>+<ノーマル長 265mmリアショック>+<40mmロングスイングーアーム>+<前後 10 インチホイール>でベストバランスです。
- **ご使用できるホイールサイズは3．5 J以下、タイヤサイズは 110 幅以下となります。それ以上はフロントフォークラバーとタイヤが接触します。**
- 本品は構造上左右の長さに若干（±3mm程度）のばらつきがある場合があります。あらかじめ、御了承ください。
- 本品は、構造上スプリングにイニシャル（セット荷重）を掛けることができません。そのため、ストロークの初期でフロントフォークの戻りが悪くなります。

その他

- 本品はオイルダンパー式ですが、一般的なテレスコピック機構のフロントフォークと異なり、圧側/伸側の減衰力発生機構は独立しておりません。そのため、圧側と伸側の減衰力が同じ効き方をします。一般的なテレスコピック機構のフロントフォークの作動とは異なるフィーリングとなります。
- この商品はノーマル同様に内部にグリスを封入する構造のため、フォークラバーのシール部分が強くできております。そのため、フォークラバーが若干フリクションとなります。
- **本品をオーバーホール（メンテナンス等）する際は、設備の整ったサスペンションプロショップ等の専門知識のある方に作業を行って頂く必要があります。**専門外の方が作業を行うと、商品の破損・不具合の発生・けがの恐れがあり大変危険です。また、当社ではオーバーホール作業は承っておりません。予めご了承ください

  【当社指定オーバーホール業者】

  ■会社　株式会社　大和工業

  ■所在地　〒421-0506　静岡県牧之原市大寄 552-3

  ■連絡先　TEL:0548-54-1324　FAX:0548-54-1514

  ■ホームページ　http://www.yamato-kougyou.com/index.html
- この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。また、文中に御紹介した商品についても同様です。予め御了承ください。

本商品の特徴

- インナーチューブ径φ22.2⇒φ25.4 になることで高剛性化。
- 内部はダンパー構造でダンピングの効いたユニットを収め、しっとりした乗り心地となります。
- ダンパーシャフトはイソナイト LS 処理が施され、耐摩耗性、耐食性、耐焼付性、疲労強度に優れています。
- ノーマルに対し、インナーチューブ長さが 25mmロングとなり、10 インチホイールが装着できます。
- ダンピング特性を見直し、より路面追従性を向上させました。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	L インナーフォーク ASSY	25mmロング	1	②	R インナーフォーク ASSY	25mmロング	1
③	イモネジ M3	※　イモネジは**フォークブーツ仕様のみ付属** （2個は紛失した場合の予備です。）					6

取付方法

【ノーマルフロントフォークの取外し】

※純正部品の取外しは必ずメーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業を行ってください。

1. エンジン下部をジャッキアップし、フロントホイール廻りを浮かせます。（ジャッキがない場合は、丈夫な木箱等をエンジンの下側に置いてフロントホイールを浮かせます。）

⚠注意

車体が倒れて怪我をしたり、車体を損傷させないよう十分に注意して今後の作業を行ってください。

2. ドラムブレーキのブレーキケーブルを止めているブレーキアジャストナットを緩め、ブレーキアームジョイント、ブレーキスプリングを取り外します。
3. フロントホイールを固定しているアクスルナットを緩めフロントホイール、スピードメーターギアを取り外します。
4. フロントフォークダストシールを取り外し、フォークアウター下側の中にあるサークリップを取り外します。
5. トップブリッジのフロントフォークトップボルトを緩め取り外します。
6. フロントクッション（フロントフォーク）を車体から取り外します。

【インナーフォーク組付け】

7. ①／②インナーフォークＡＳＳＹにノーマル同様にグリスを塗ります。

⚠注意

フォークラバーのリップ部分にはゴムを侵さないシリコン系のグリスを塗ってください。

8. 取り外したフロントクッションと同様の取り付け方法で①／②インナーフォークＡＳＳＹを組付けます。アッパースプリングサポートの回り止め位置に合わせ、フロントフォークトップボルトを締めます。

⚠注意

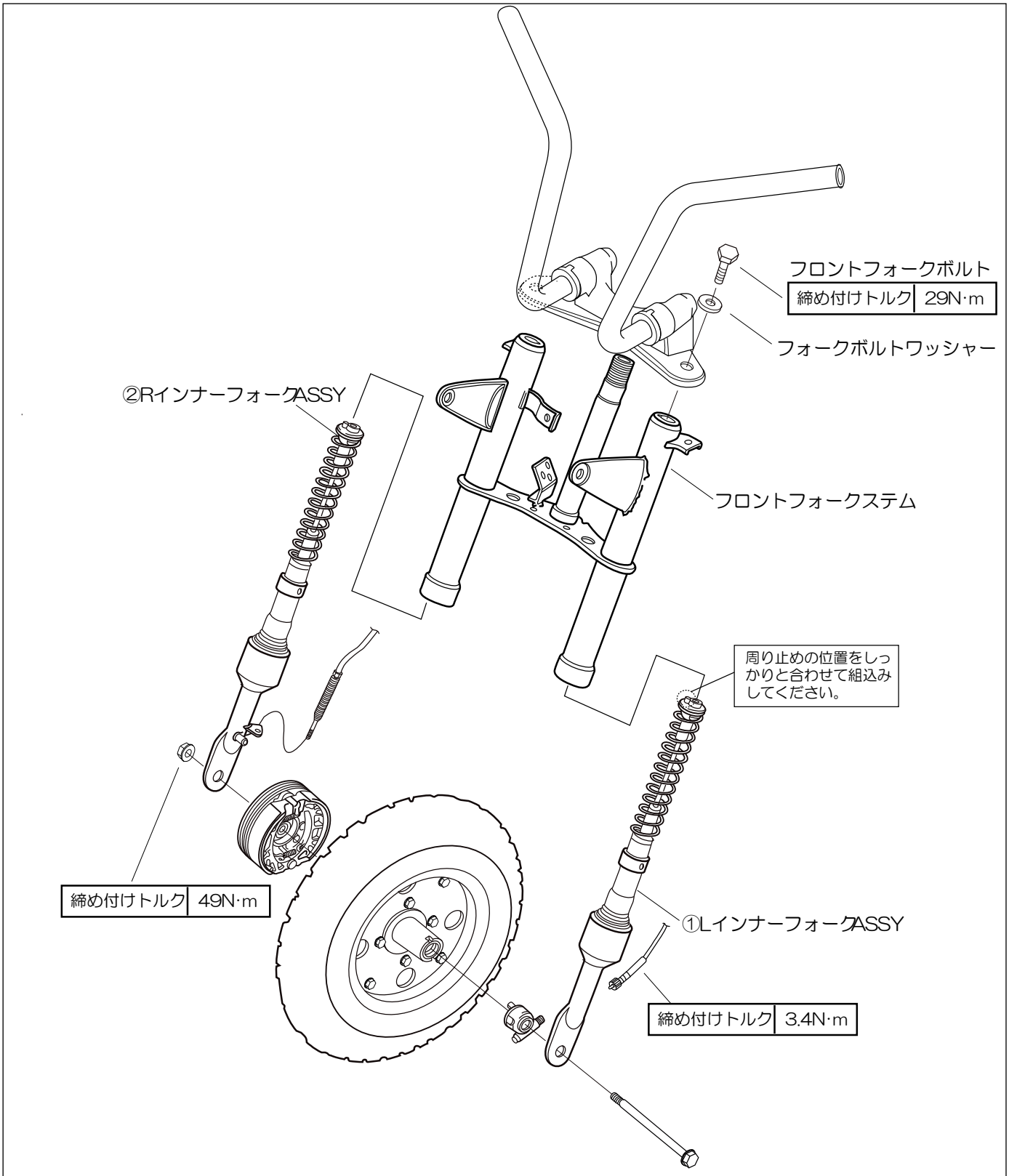
インナーチューブに対して回り止めの位置がずれている場合はスプリングからアッパースプリングサポートを緩めて位置を出してください。

9. フォークアウター下側にＲリングをはめます。
10. フォークラバー（フォークブーツ仕様の場合はフォークブーツ）をフォークアウターにはめ込みます。
11. フォークブーツ仕様の場合はフォークブーツ上部のアルミ製キャップをイモネジ（２本）で固定してください。

⚠注意

ネジ緩み止め剤を使用してください。

12. 元のようにフロントホイール、スピードメーターギアを組付けます。
13. ブレーキケーブルを取り付けます。
14. Ｆブレーキの遊びを調整し、作業は完了です。


フロントフォークボルト
締め付けトルク 29N·m
フォークボルトワッシャー
②Rインナーフォーク ASSY
フロントフォークステム
周り止めの位置をしっかりと合わせて組込みしてください。
締め付けトルク 49N·m
①Lインナーフォーク ASSY
締め付けトルク 3.4N·m

分解＆組立て方法（オーバーホール等の際に・・・。）

※　分解＆組立方法に尽きましては、オーバーホール等の商品を分解する際に必要となります。
商品は組み付けされた状態にて出荷しております。初期の取り付けの際は、商品の分解作業を必要としません。
※　フォークラバー仕様の分解＆組立て方法です。

【分解】

1. インナーチューブにアッパーインナーサポートを固定しているイモネジ２本を外します。
2. インナーチューブ下側を万力等で固定し、アッパーダンパーキャップを緩め、ダンパーユニットごと引き抜きます。
3. アッパースプリングサポート上部を万力で固定し、スプリングを回しながら、アッパースプリングサポートよりスプリングを外します。スプリングが外しにくい場合はードライバー等をスプリングエンドに当て、プラスチックハンマーで軽く叩き、緩み方向に回していきます。
4. スプリングを軽く縮めながら、M８のナットを緩め、アッパースプリングサポートを取り外します。
5. ロアースプリングサポートより、スプリングを外します。この場合もスプリングが外しにくい場合は手順３と同様の方法で行います。
6. ダンパーシャフトより、M8 ナットとバンプラバーを抜き取り、ロアースプリングサポートを緩めて取り外します。
7. ダンパーシャフトを少し伸ばした状態で、アッパーダンパーキャップを緩めて、取り外します。
8. ダンパーシャフトをオイルダンパー、スポンジを抜き取り、ダンパーボディの中のオイルを捨てます。
9. ダンパーボディからロアーダンパーキャップを緩めて取り外します。
10. ダンパーシャフトからスポンジを抜き取り、２個のＥリングを外してオイルダンパーを外します。

【組立て】

11. ダンパーシャフトにオイルダンパーを差込み、Ｅリング 2 個で固定します。
12. Ｏリング(S16)をロアーダンパーキャップに取り付け、ダンパーボディに取り付けます。

    締め付けトルク：18N·m

13. ダンパーボディを垂直に立てダンパーシャフトを全屈させた状態で 23.4ｃｃのオイルを入れます。油面調整方法は右記を参考にしてください。

⚠注意

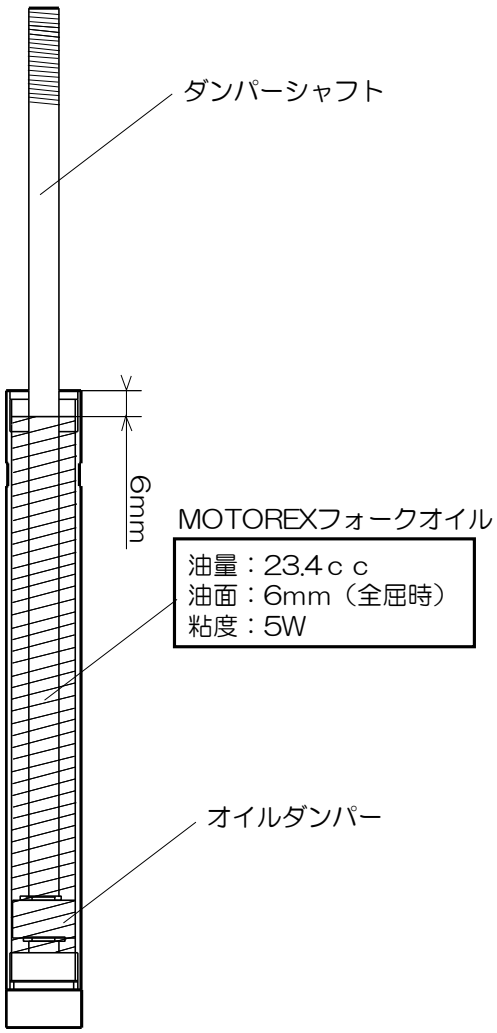
- 油面、油量は規定値から変更しないでください。
- セッティング変更は粘度変更のみで行ってください。なお、粘度を上げると減衰力が強まり、粘度を下げると減衰力が弱まります。
- 基本的にブレーキを強化した場合は粘度を上げる方向になります。

14. ダンパーボディにダンパーシャフトを入れ、短く 10 回程度ストロークさせエアを抜きます。
15. ダンパーシャフトにスポンジを差し込みます。
16. アッパーダンパーキャップにＯリング（S16）を組付け、ダンパーボディに組付けます。

⚠注意

- このときダンパーシャフトを伸ばした状態で組付けオイルが溢れないように作業してください。

締め付けトルク：18N·m



17. ダンパーシャフトにロアースプリングサポートを差し込みアッパーダンパーキャップに組付けます。

締め付けトルク：18N·m

18. バンプラバーと M8 ナットをダンパーシャフトに組付けます。
19. ダンパーシャフトを最大まで伸ばした状態でスプリングをロアースプリングサポートに組付け、奥までスプリングを締め込みます。
20. アッパースプリングサポートをダンパーシャフトに組付け、スプリングを若干縮めた状態にして、アッパースプリングサポートに M8 ナットを締めて固定します。

締め付けトルク：18N·m

21. スプリングをアッパースプリングサポートに回転させながら締めこみます。
22. インナーチューブにフォークラバー、R リング、ワッシャー、ロアーインナーサポート、アッパーインナーサポートの順に組付けます。
23. インナーチューブに手順 22 までに組み込んだインナーフォークを差込み、締め込みます。

締め付けトルク：20N·m

24. アッパーインナーサポートをインナーチューブにイモネジで固定します。

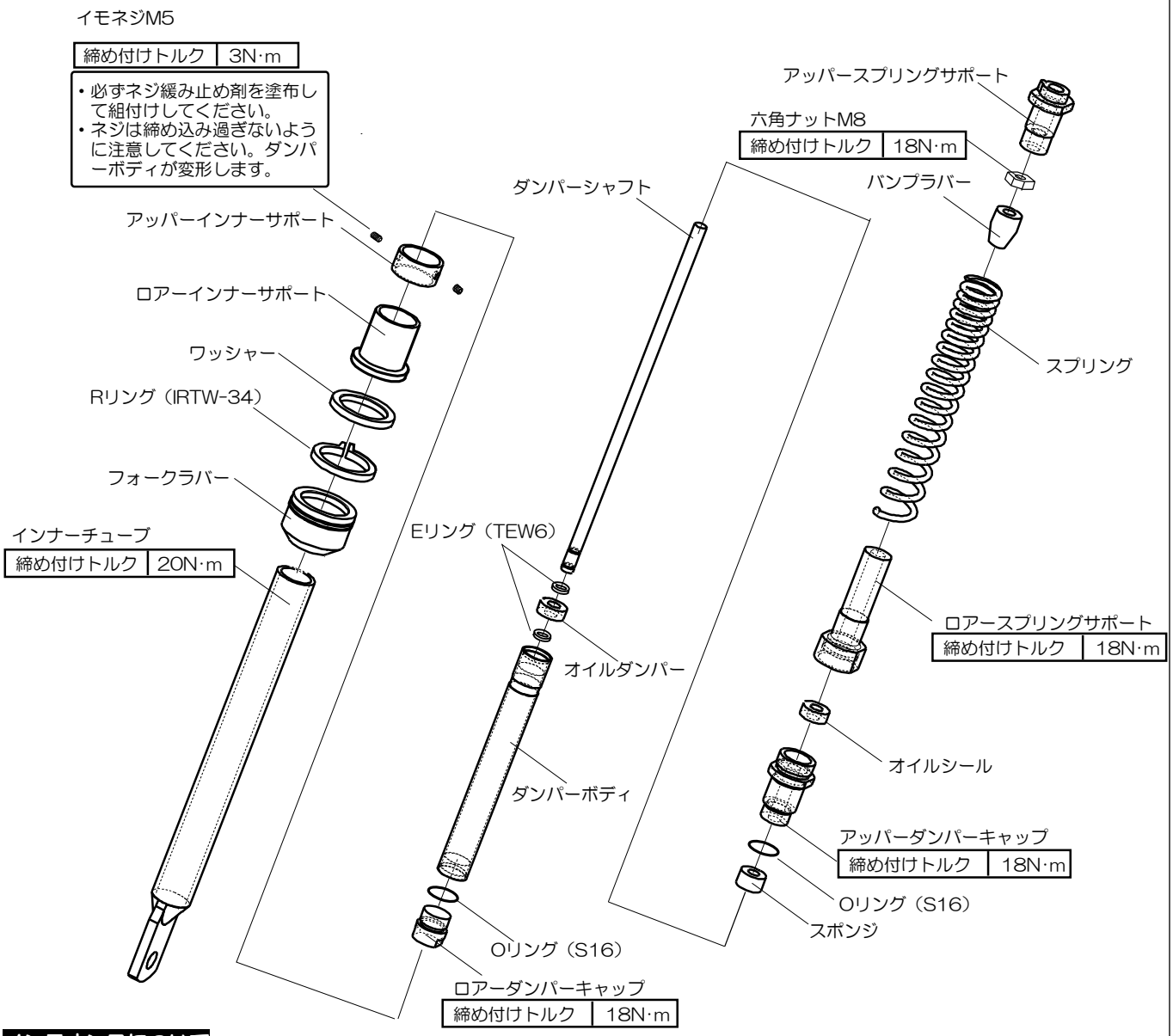
締め付けトルク：3N·m

⚠注意

- イモネジに**ネジ緩み止め剤（中強度）**を塗布してください。
- ネジ緩み止め剤は樹脂を侵す場合があるため、樹脂に付かないよう、注意してください。
- イモネジは締め込み過ぎないでください。締めこみすぎると、ダンパーボデイが変形してしまう場合があります。

25. インナーチューブに対して回り止めの位置がずれている場合はスプリングからアッパースプリングサポートを緩めて位置を出してください。
26. ここでインナーフォークＡＳＳＹの組立ては終了です。

分解図



メンテナンスについて

- **スポンジ、バンプラバー、E リング、O リング(S16)、オイルシール、アッパーインナーサポートについては消耗品**となります。インナーフォーク ASSY の分解を行った際には必ず新品に交換してください。
- 使用条件、使用環境によっては、走行距離が短くても（1000ｋｍ未満でも）オイル漏れが発生する場合があります。この場合、ダンパーシャフトのガタや、オイルシールの傷みが原因です。オイルシール、ロアースプリングサポート、アッパーダンパーキャップを新品に交換してください。
- オーバーホール、メンテナンス等については設備の整ったサスペンションプロショップで作業を行って頂く必要があります。

当社指定オーバーホール業者

当社ではオーバーホール作業は行っておりませんので、下記の業者へご依頼ください。

■会社 **株式会社　大和工業**

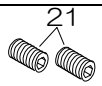
■所在地 **〒421-0506　静岡県牧之原市大寄 552-3**

■連絡先 **TEL:0548-54-1324　FAX:0548-54-1514**

■ホームページ http://www.yamato-kougyou.com/index.html

補修部品

番号		品番	商品名	価格（税抜）	備考
1		73346	ソフトスプリングセット	￥2,100	2個入り
2		70466	補修フォークラバー	￥500	1個入り
3		70480	補修アッパーインナーサポート	￥1,400	↑
4		70481	補修ロアーインナーサポート	￥2,000	↑
5		70498	補修ワッシャー	￥500	↑
6		70493	補修Rリング	￥300	↑
7		70465	補修バンプラバー	￥400	↑
8		70497	補修オイルシール	￥850	↑
9		70464	補修スポンジ	￥250	↑
10		70494	補修Eリング	￥250	↑
11		79317	補修オイルダンパー2	￥800	↑
12		70492	補修Oリング	￥250	↑
13		70482	補修アッパースプリングサポート	￥2,550	↑
14		70496	補修ロアースプリングサポート	￥3,000	↑
15		70495	補修アッパーダンパーキャップ	￥2,300	↑
16		70483	補修ダンパーシャフト	￥1,300	↑
17		70479	補修ロアーダンパーキャップ	￥800	↑
18		70483	補修ダンパーシャフト	￥1,300	↑
19		71645	補修インナーチューブL/25mmロング	￥4,140	↑
20		71647	補修ドラム用インナーチューブR/25mmロング	￥4,950	↑
21		63573	補修イモネジM5×5　SUS	￥200	3本入り
フォークブーツ仕様	22	72278	補修ALワッシャー	￥800	1個入り
	23	72277	補修フォークキャップ	￥3,400	↑
	24	70586	補修ピストンロッドパッキン	￥1,400	↑
	25	70583	補修フォークブーツ	￥1,200	↑



・フォークオイルは**品番 65022 MOTREX FORK OIL 5W/1L ￥2,400（税抜）**をご使用ください。

<フォークブーツ仕様専用補修品>

仕様諸元

インナーフォーク 10 インチ用	自由長	495mm
	ストローク	60mm
スプリング（STD）	自由長	173mm
	線径	φ3.3
	バネレート	5.41N/mm
オイルダンパーユニット	ダンパーシャフト	イソナイト LS 処理
	オイル	MOTOREX フォークオイル
	オイル量	23.4ｃｃ
	オイル粘度	5W
	油面(全屈時)	6mm

同時装着品/推奨品

品番	商品名	価格（税抜）	備考
65631	ノーマルフェンダーオフセット KIT	￥8,000	クリアーアルマイト
69440	ノーマルフェンダーオフセット KIT	￥8,000	ブラックアルマイト
66260	メッキサイドスタンド 10 インチ用	￥4,200	クロームメッキ
40445	アルミロングスイングアーム 40mmロング	￥23,500	
－	チューブレスアルミホイール 10 インチ各種	￥14,200 ～￥18,800	

＜ワイドホイール装着条件＞

フォークラバーとタイヤが接触しないようにホイールサイズは 10-3.5Ｊ以下でご使用ください。また、タイヤ幅は 110 以下でご使用ください。

＜指定リアショック長＞

ノーマル同等の 265mmをご使用ください。

＜指定スイングアーム長＞

40mmロングをご使用ください。

東証JASDAQ上場
株式会社デイトナ 〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona-mc.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで